

25. 大坂冬の陣 (1614年11月)

35. 大坂夏の陣 (1615年5月)

大坂の陣とは、1614年から1615年にかけて行われた徳川家と豊臣家との戦いのことです。1614年11月の大坂冬の陣に始まり、1615年5月の大坂夏の陣で終結しました。

この戦いにより豊臣家は滅亡し、応仁の乱から続いていた戦国時代はこれで終わりを迎えることになりました。

籠城するには広いし寒い、冬の陣

1614年

ヒーロー以後現れず、夏の陣

1615年

30. 島原の乱 (1637年)

織田信長がキリスト教の布教を許可し、九州には多くのキリスト教を信仰する者が現れましたが、江戸幕府はキリスト教を禁止し、厳しく取り締まっていました。

1637年、島原（長崎県）、天草（熊本県）の人々は、キリスト教徒への迫害や厳しすぎる年貢の取り立てに苦しみ、天草四郎という少年を大将にして大きな一揆を起こし幕府と戦いました。これを島原の乱、または島原・天草一揆といいます。

4カ月にわたってやっと鎮圧した幕府は、キリスト教禁止をさらに徹底して行うことになりました。

天草四郎はヒーロー、みんな大好き

1637年

1. 大塩平八郎の乱 (1837年)

1830年代、国内は天候の悪さから、天保の飢饉と呼ばれる農作物の不作が続くようになり、各地で百姓一揆や打ちこわしが頻繁に起こるようになります。

そうしたなか、生活に苦しむ人々を救おうと、大坂町奉行所の役人だった大塩平八郎が仲間と共に江戸幕府に対して大阪で乱を起こしました。

この乱は1日で鎮められましたが、幕府の元役人でありながらその幕府に牙をむいたということ、また、幕府の旗本が島原の乱以来、200年ぶりに出兵し合戦となったことが、幕府や民衆に大きな衝撃を与えました。

いやみな役人やっつけろ！大塩平八郎の乱

1837年